

気孔

【みんな精一杯生きている】

最近雨がよく降りますね。もう少し立つと、道ばたなどに青い色をした小さな花がたくさん咲きます。ツユクサといいます。1センチメートル～2センチメートルくらいの、小さな花が咲きます。6月ぐらいになるとたくさん咲きますから、すぐにわかります。

さて、今日はこの草の葉はどうなっているのかお話をしましょう。ツユクサの葉をもっとよく見るために、顕微鏡というものを使います。顕微鏡を使うと、小さなものが見えるようになります。

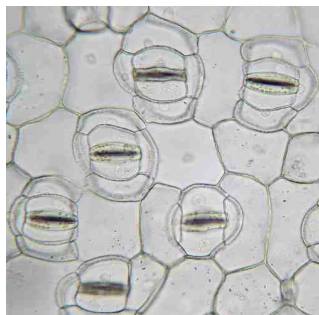


顕微鏡を使って葉はどうなってるのか見てみましょう。

このように、小さな部屋がいっぱいつまっています。この一つ一つを細胞といいます。英語ではセルといいます。植物の葉は細胞がいっぱい集まってできているのです。これは動物も同じです。

さて、この写真よく見てみましょう。なんかちょっと違った細胞がありますね。それをもっとよく見えるように大きくしてみましょう。

何かに似ていませんか？



何となく人の口のようにですね。これを気孔といいます。人の口に似ていますね。

口はどんなはたらきがありますか？

そうですね。息をするところですね。難しい言葉で呼吸といいます。ツユクサも人と同じようにこの口のようなところで息をしているんです。

この写真を見てください。

私たちの口と同じように、気孔も開いたり、閉じたりするんですよ。

ツユクサの葉を顕微鏡で見ました。すると小さな口「気孔」というものがたくさんありましたね。ツユクサはこの気孔で息をしているんです。息をしているということは、生きているということですね。ツユクサも私たちと同じように息をし、生きているんですね。

他の草や花も同じなんです。みんな葉に気孔というものがたくさんあって、息をしているんです。

この写真はチューリップです。チューリップにも気孔があるんです。

私たちの回りにたくさんある、草や花や木、それらの葉には小さな口がたくさんあって息をしているんです。みんな息をして生きているんです。みんな、私たちと同じように精一杯生きているんですね。

